

平成27年 恵庭市議会第2回定例会議事日程表

1. 日 程

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議録署名議員の指名について	
2		会期の決定について	
3		諸 般 の 報 告	
4		行 政 報 告	
5		教 育 行 政 報 告	
6	報告第1号	平成26年度恵庭市一般会計予算の繰越明許費について	報 告
7	報告第2号	平成26年度恵庭市下水道事業会計予算の繰越について	"
8	議案第1号	恵庭市個人情報保護条例の一部改正について	総文委付託
9	議案第2号	恵庭市手数料徴収条例の一部改正について	厚消委付託
10	議案第3号	恵庭市保育に関する条例の一部改正について	即決・起立
11	議案第4号	町の区域を新たに画することについて	即決・簡易
12	議案第5号	恵庭市庁舎改修工事の内建築工事の請負契約の変更について	"
13	議案第6号	平成27年度恵庭市一般会計補正予算（第2号）	"
14	議案第7号	平成27年度恵庭市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	"
15	議案第8号	平成27年度恵庭市介護保険特別会計補正予算（第1号）	"
16	議案第9号	恵庭市議会特別委員会の設置について	"
17		恵庭市議会特別委員会委員の選任について	"
18	陳情第2号	「最低賃金の大幅な引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情	経建委付託
	陳情第3号	「労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求める意見書」の提出を求める陳情	"
19		一 般 質 問	

2. 会 期

日 程	曜日	会 議 区 分	摘 要
6月 8日	月	本 会 議 (10:00)	諸般の報告・行政報告・教育行政報告・議案審議
		委 員 会 (※本会議終了後)	(総合計画特別委員会)
6月 9日	火	休 会	
6月10日	水	委 員 会	議会運営委員会
6月11日	木	本 会 議 (13:00)	一 般 質 問
6月12日	金	本 会 議 (13:00)	一 般 質 問
6月13日	土	休 会	
6月14日	日	休 会	
6月15日	月	本 会 議 (10:00)	一 般 質 問
6月16日	火	本 会 議 (10:00)	一 般 質 問
6月17日	水	委 員 会	厚生消防常任委員会
6月18日	木	委 員 会	総務文教常任委員会
6月19日	金	委 員 会	経済建設常任委員会
6月20日	土	休 会	
6月21日	日	休 会	
6月22日	月	委 員 会	基地特別委員会
		(委 員 会)	(総合計画特別委員会)
6月23日	火	委 員 会	議会運営委員会
6月24日	水	本 会 議 (13:00)	委員長報告・議案審議

議案第9号

恵庭市議会特別委員会の設置について

恵庭市議会委員会条例第6条の規定により、次の特別委員会を設置したいので議決を求めます。

平成27年6月8日提出

恵庭市議会議員 林 謙 治 川 原 光 男 笹 松 京次郎
野 沢 宏 紀

恵庭市議会議長 伊 藤 雅 暢 様

1 設置する特別委員会名

総合計画特別委員会 委員数 7 名

2 調査事項

(1) 総合計画に関する事項

3 調査期間

総合計画特別委員会は、議会の閉会中も継続審査を行うことができるものとし、議会が終了議決するまで行うものとする。

日程 17

恵庭市議会特別委員会委員の選任について

恵庭市議会委員会条例第7条第1項の規定により、特別委員会委員の選任を求めます。

平成27年6月8日提出

恵庭市議会議長 伊藤 雅 暢

総合計画特別委員会 (7名)

早坂 貴 敏 小 橋 薫 前 田 孝 雄 佐 山 美 恵 子

川 原 光 男 笹 松 京 次 郎 猪 口 信 幸

陳情第2号

「最低賃金の大幅な引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情

「陳情趣旨」

雇用労働者の約4割が非正規雇用となり、労働者の4人に1人が年収200万円以下のワーキング・プアです。低賃金で不安定な仕事にしか就けず、結婚、出産、育児ができない人が増えて少子高齢化がますます進行し、社会基盤を硬直化させています。そのうえ大震災の被災地の復興や生活支援も進んでいません。

政府は、経済の好循環を実現するには賃金の引き上げが必要と言いながら、地域別最低賃金は、北海道は748円、最も高い東京で888円、最も低い鳥取、高知、熊本、大分、沖縄では、677円です。フルタイムで働いても月10万～13万円の手取りでは、健康で文化的な最低限の生活はできません。

しかも、地域間の格差が211円に拡大したため、労働力が地方から都市部へ流出し、地域経済を疲弊させています。地方・地域を再生させるうえでも、地域間の格差の是正と最賃水準の大幅な引き上げが絶対に必要です。「できる限り早期に全国最低800円を確保し、2020年までに全国平均1,000円をめざす」とする政労使の合意による「雇用戦略対話」に基づいて最低賃金を大幅に引き上げることこそ、消費購買力を確保し、地域経済と中小企業の経営を発展させる道です。

日銀による「異次元の金融緩和」で株価は上がり、大企業の内部留保は増えましたが、実質賃金は下落し続けています。真の「経済再生」を実現するには、中小企業への経営支援と下請単価の改善を図り、最低賃金を引き上げることが必要です。人間らしく生活できる金額の最低賃金を基本に、生活保護基準、年金、下請単価、課税最低限などを整備すれば、誰もが安心してくらせる社会をつくることができます。

以上の趣旨から、下記の通り陳情します。

記

「陳情項目」

1. 最低賃金を時間給1,000円以上とすること。
2. 最低賃金の地域間格差をなくし、全国一律の最低賃金制度の創設をめざすこと。
3. 最低賃金額は、時間額だけでなく、日額、月額を明記すること。

平成27年6月1日

陳情者

札幌地区労働組合総連合

議長 赤坂 正信

札幌市白石区菊水5条1丁目4-5

恵庭市議会議長 伊藤 雅暢 様

陳情第3号

「労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求める意見書」の提出を求める陳情

「陳情趣旨」

1日8時間、週40時間以内の労働で、健康で文化的な生活ができる社会の実現が求められています。

働く現場では、体調不良を訴える労働者が続出しています。仕事に追われて睡眠時間を削って働き、心身の健康を損なって過労死や過労自死する人が後を絶ちません。不安定な雇用と劣悪な処遇も「うつ・不安障害」を発症させる傾向を高めています。そのリスクを抱える非正規雇用労働者は増加の一途をたどっています。

過労死と失業と人手不足が併存するゆがんだ状況からの脱却は急務です。今年の「過労死等防止対策推進法」の制定に続き、今国会では「ブラック企業」の根絶にむけ、生体リズムを無視した働き方・働かせ方や不安定雇用の濫用を規制し、社会の劣化を防ぐ法制度が求められています。

男女がともに安心して働き、子を産み育てられる社会を実現するために、労働時間法制の規制と安定雇用の確立が求められています。

以上の趣旨から、下記事項について陳情いたします。

記

「陳情項目」

1. 「労働時間規制の適用除外の新制度の導入」や裁量労働制の拡大・手続き緩和は行わず、
 - ①時間外労働の上限規制強化にむけ、当面「限度基準」を法律化し、36協定の特別条項を廃止すること。
 - ②勤務の終了と開始の間に11時間以上の間隔をおく「勤務間インターバル制度」を導入すること。
 - ③夜勤交替制労働者は社会に必要不可欠な事業に限り認め、法定労働時間を日勤労働者より短くすること。
2. 「正社員ゼロ・生涯派遣」につながる規制緩和は行わず、労働者派遣法を改定して、「均等待遇」と「臨時的・一時的な業務への限定」を明記すること。
3. 解雇の金銭解決制度など解雇しやすい仕組みづくりは行わず、整理解雇の4要件を法律化するなど、解雇規制を強化すること。

平成27年6月1日

陳情者
札幌地区労働組合総連合
議長 赤坂 正信
札幌市白石区菊水5条1丁目4-5
第6尾崎ビル1階

恵庭市議会議員 伊藤 雅暢 様

一 般 質 問 の 順 位 及 び 時 間

順	月 日	氏 名	通告時間	摘 要
1	6月11日	鷺田 政博	55分	
2		岩井 利海	55分	
3		小橋 薫	55分	
4	6月12日	市川 慎二	50分	
5		早坂 貴敏	50分	
6		笹松 京次郎	65分	
7	6月15日	佐山 美恵子	50分	
8		高橋 通子	50分	
9		野沢 宏紀	50分	
10		猪口 信幸	60分	
11	6月16日	林 謙治	60分	
12		榎本 敦尚	50分	
13		柏野 大介	50分	
14		藤田 俊輔	50分	

各 常 任 ・ 議 会 運 営 ・ 特 別 委 員 会 日 程

委 員 会	月 日	時 間	場 所	事 項
厚生消防 常任委員会	6月17日	10:00	市民会館2階 大会議室	・付託案件審査 ・所管事務調査
総務文教 常任委員会	6月18日	10:00	市民会館2階 大会議室	・付託案件審査 ・所管事務調査
経済建設 常任委員会	6月19日	10:00	市民会館2階 視聴覚室	・付託案件審査 ・所管事務調査
基地特別 委員会	6月22日	10:00	市民会館2階 中会議室	・所管事務調査
(総合計画 特別委員会)	(6月8日)	(本会議 終了後)	(303会議室)	(・正副委員長の互選)
	(6月22日)	(13:00)	(市民会館2階 中会議室)	(・所管事務調査)
議会運営 委員会	6月10日	10:00	市民会館2階 中会議室	・意見案の調整
	6月23日	13:00	303会議室	・追加案件